

戰の氣運は帝國主義者の牙城に肉薄しつゝある、中國の全面的抗戰により日本帝國主義者は狼狽の極に達して居る、在華日本人民反戰革命會は成立に際し我等の敵は日本帝國主義者であることを認める、一切の侵略行爲を打倒する、日本人解放のために闘争する、自由平等、友愛を基礎とする東亞新秩序を建設する、中國の抗戰と協力して日本帝國主義者及その大陸に於ける代理人を撃滅する、被壓迫民族を解放して新日本を建設する、自由、平等、友愛、の下に中、日民は提携する、帝國主義は反對し平和を愛好する民族と協同する以上をその任務とするものである云々、

十一月三十日南京に於て汪漢奸と阿部大使との間に中日國交調整條約が締結された、内容は計十九條で、嘗て我々が曝露したものと大體同じく、中國を悉く賣渡したものであつて汪の行爲は全く賣國行爲たること明白である、中國政府は十一月三十日汪及その一派の逮捕命を發し、汪を逮捕したものは十萬圓の賞金を與へることを明にしたので、王外交部長も中央社より大體次の様な聲明を發した、

日本は汪との間に中日關係調整條約を締結したが之は日本が中國及太平洋に於て侵略行爲遂行の段階であつて、侵略の目的を達成せんとして居るのである、中國政府は汪傀儡に對し一再ならず、態度を表示し來たが爰に再び聲明するものである、即ち汪は中國を賣つた罪惡の主犯であつて條約は中國人民及外國人士に對し完全に無効であり不法行爲である、若しも汪を承認する者あるに於ては、之を當然非友誼行爲と認め友好關係斷絶をなす計りである云々、

外國宣傳情報第二號

内閣情報部一二・四

(四) 百頁英語放送 (十一月三十日) —

(東京都市遞信局聴取)

一、羅にルーマニア、スロバキア及びハンガリーが相前後して日獨伊樞軸國に参加する爲、日獨伊三國同盟條約書に参加調印を終了し、一方、獨伊は得たり良しと全歐を席捲して其所に新秩序建設の覇業を着々と進めてゐるが、當初から樞軸國參加の旗幟を鮮明にしてゐたスペインの動向が最近世界注視の的となつてゐる折柄、一般消息道の語る所では同國の樞軸國參加も愈々時日の問題となり、而してその參加の形式乃至経路はハンガリーのそれと同一だらうとのことである、

一、英國よりの情報によれば昨金曜獨爆撃機編隊は英本土西北部沿岸並に西南部沿岸一帯を空爆して爆弾を多数投下したと報がられてゐるが其の損害の程度は極く輕微であつたこととである、

(五) ロンドン英語放送 (十一月三十日) —

一、日本の政府は本日南京政府との基本條約正式調印を終了して終に南京政府を支那正統政府として承認するに至つた(以下聴取不能)

一、ルーマニアは遂に獨伊樞軸國の外交攻勢の重壓下に日獨伊三國同盟に参加するの已むなきに至らしめられたが残るトルコ、ブルガリア等のバルカン協商國の樞軸國に對する向背は未だに確立せず、従つてバルカンに於ける情勢は尙も混沌たるものがある、

傳情報外

内閣情報部一三。四

モスコ、露語放送（二二日）

（東京都市逓信局聴取）

（紐育、三十日）ウエルズ國務次官の言によれば、過般より米國駐劄希臘公使と米國財務當局との間に行はれてゐた希臘に對する米國よりの軍需品供給の交渉は今回希臘の要求を満足せしむる様協定が成立した。然しその詳細は未だ不明である。

ソ聯人民委員會議附屬國家勞働豫備軍總管理局長モスコートの發表によれば、過般最高會議幹部會の布告した年少國家勞働豫備軍養成令により十二月一日徒弟學校、鐵道従業員養成所、工場附屬學校の新學年が開始され、豫定の如く各地方農村の子弟六十萬人が召集を受けこれに收容され就學することとなつた。既に石炭工業、黑色冶金兩人民委員部の如きは管下の炭坑及び工場に對して工場附屬學校と密接な聯絡をとりこれを指導すやう指令を發した。

ソ聯人民委員會議は十二月一日附を以てシユコフを同人民委員會議附屬國家勞働豫備軍總管理局長代理に任命した。